

刊夕 日八月八



定額一冊... 廣告料五號十二字... 印刷所 常磐毎日新聞社

日本精神と神社 (三)

石城郡神社總代人大會席上講演筆記

國學院大學教授 文學博士 河野省

これが日本人の心これが日本心、こゝにある日本人の氣もち、是れが即ち我が國体の柱であると考へました。若しお互が内省してみたら必ず其の心の奥底にさう云ふ氣もちがあると思ひます。之れを失つたらば日本の國體觀念は薄らひて來る。實に大切な心もちである。これが日本人の有らゆる觀念の要素となつて居る。なぜ佛敎が印度で滅び支那で眠つて居るのに、獨り日本にばかり盛んであるのかと云ふと、日本人の神々しさの氣もちが佛敎を活して居る。この氣もちである。この氣分が日本人にあればこそ日本は永遠に發展を續けて居るのである。神々しさの氣持に次ぎまして第二の特色は懐かしさの氣分であります。何となく親しみ易い氣持である。西洋人はよく日本人は何んとなく親しみ深い、何んとなく親切な國民であると申して居ります。中にはお世辭もありませんが、實際日本人は親切な温かみのある國民であります。この心持は

日本の天然の然らしめる所であり、又日本の國體の然らしめる處である。更に又歴史の然らしむる處であり日本人の境遇の然らしむる處でもある。この日本人の懐かしさと云ふ情味は正に日本心の一大特色であります。我々は天皇陛下を現神として敬ひ奉つて居りますが其の神々しさを感じる半面に又誠に温かい氣分を感じるものであります。皆さん、それ故、義は君臣、情は猶ほ父子の如しといふ關係で、其の間に極めて深い懐かしみを感じるものであります。今上陛下を仰ぎ奉る時に、我々は何となく嚴肅な氣分に打たれると同時に、又何となく非常な懐かしさを感じるものであります。神社局長をして居られた池田さんは御大典當時は京都府の警察部長を勤めて居られました。當時は一命を棄てる覺悟で御警衛の任に當つて居られました。而も一度たび天子様の御側近に参りますと實に御懐かしくて堪らない氣が致したと言はれてをり

て居る、西洋の着物は一々鈕が掛つて居る。實に日本りである。

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
菓子食器
硝子壺
其他各種

松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

御新佛御供養の...
提灯
御法名人提灯の大奉仕
瓜形 一對房付 金二圓五十錢より
角形 同 金一圓九十錢より
其他岐阜提灯種々取揃へてあります
是非御下命は電話九五番
平四丁目

スガノヤ提灯店

季節御料理
柳川 一人前 金二十五錢
うな井 金三十五錢
蒲焼 金五十五錢
右大々勉強出前迅速
◎滋養豊富!風味美味!
是非一度御試食を...
大蒲焼・鳥料理
壽司・折詰仕出し
魚榮
田町(電話四二四番)

産名城磐
出賣節録
魚問屋
配達敏速

最優最 大最 日本 生命 平代 店理
志平 日丁 賀電 盛三 榮番

質物一般
各種債券類

三井質店
平町四丁目川岸
電話六〇六番

漆器は 高尚優美、重寶な器物
大暴落の最底値段時代

御中元の御贈答に
共の漆器を

◎是非一度御照會を
各國産漆器専門卸小賣

共 榮 漆器店
平町三丁目北裏
(元郵便局裏通り)

赤い目 一滴できく
かゆ目 目薬
神教水 (新容器入)
堀薬局
平町二丁目(電話三三六)

月曜言論

貧乏製造機

去月末日迄の電話料納附期にその料金を完納し能はざる加入者が平局に卅名あつた、從來も未済者が十名内外はあつた由であるが、今回程未済者の多い事は異例とする處であつて局長も一驚を喫して居るといふ、然も本日に至るも十數名が未だ完納しない爲めに通話停止となつて居る。

平局の電話は以前單式交換臺であつた爲め二度交換嬢の手を経ねば相手方と通話が出来なかつた、然るに應舎の新築と共に、共電式にするに稱し、是れが新式で便利だといふ局の宣傳に乗せられて、加入者は共電式の實現を狂喜して待望した、而して愈よ現在の共電式になつて後の「料納金入告知書」を見ると從來一期十八圓五十錢であつた電話料が籤から棒に一躍廿圓五十錢に値上げされて居たのである。

加入者は便利になる事を喜んで料金の値上げされる事は考へて居なかつた。今更らながら「こんな譯だつたのか」と驚いたが如何とも致し方なく、長い物に巻かれる式で唯々諸々と値上げに甘んじた。其後景氣は下向する一方で電話加入者の中には破産する者あり閉店する者あり、電話の権利は轉々とし、新規架設の申込は減つて料金滞り續

出するに至つた。即ち加入者は電話を持つて居る爲めに、反つて倒産の期を早める重壓を感じるに至つたのである。文明の利益であるべき電

金成通氏の文書戦

先づ火ぶたを切る

互選資格の卑劣な流言は

一層自分を勇躍せしむと

赤誠を吐露す

多額納税議員候補に出馬した金成通氏は有権者其他に立候補の挨拶状を配附した。同挨拶状には出馬するに至つた事情を詳細に述べて期待に添ふべき決意を明らかにし、「小生の互選資格に關し種々なる流言飛び卑劣

なる逆宣傳等現はれ居り候模様なども一切は小生を信じ下され候各位の常識的御判断に任せ小生としては寧ろ馬を進むるに層一層の勇氣さへ與へられたる次第に有之候」と赤誠を吐露してゐる。

海水既に冷やか

立秋入の四倉濱

昨日今夏最後の賑ひ

今年の土用も昨日の日曜を以つて立秋入りとなる處から最後の海に親しまんとて昨日浴客は續々と四倉海岸に押掛け殊に郡山驛主催の団体七百名と磐城片倉製絲工場の女工連三百餘名等列車貸切の客あり平驛の乗客は三千八百、降客三千五百を見たが四倉町でも団体客及一般客歓迎の爲め特に浴場近くに餘興場を設けて藝

不況対策に

産馬改良

放馬組合組織

ちに通話止めの苛酷を以つて迫らんとするを革めざる政府に、果して中小商工業者救済の血と涙ありや？甚だ心細い次第である。

平の温度

Table with 2 columns: Location and Temperature. Locations include 平裁判所 (78.5), 平刑務所 (76.0), 平役場 (79.5), 平木監督所 (79.0), 平警察署 (78.0), 平農務所 (78.5), 平稅務署 (77.0), 平郵便局 (78.0), 平驛 (79.0), 平營林署 (78.0).

昨夜の雨は

豊作に極印

石城郡下の稲作は玉川、小名濱等の一部に水不足を來たした外は各村を通じ非常な好成绩を見て居るが殊に昨夜の降雨は今年の豊作をして居ると

磐炭プール開き

對抗競技で磐炭勝つ

既報磐炭プール開きは昨日午前九時より行はれ一般ファンの人氣を集めた對抗二百米リレーの戦績は左の如くで磐炭軍優勝した

平第一の臨海學校

短夜が明けました。疲れたのでせう今朝あたりは餘り早くおきる人がありませんが、五時半

にはすつかり起床していつもの如くラヂオ体操操終つて大敷網の鮪の陸揚げを見ました、大いした魚です、これでも今年は不漁の方と一匹六十錢位なさうで買つて行く人もあります。

宿泊以來五日大部舎もひらけましたので各班に別れて室の内外の大掃除をしました。遊んで居る人など一人もありません、四十分位で舎の内外は見違る程美化されました。今日は少し曇り寒い位です、九時まで自習をして九時半から海へ行きました。A班が上川先生、B班が水竹先生が主任となつて水泳の型を教へて頂きました。

まだ少しも泳げない人が二人、岸の方でビシャ／＼やつて居ります、A班の人々は遠泳をやりました。四十人位揃つて赤帽を青い水の上に浮べて進んで行く様は誠に見事です、皆元氣で水竹先生がいくらあがれと得意の叫びを鳴しても上つて來ない人もあります、午後三時から海岸でプレイングランドボールとドッチホー

自由の雑誌が

川崎巡回文庫

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電一七〇

共濟病院長解職問題

俄然紛議を醸す

賀澤會長の専斷なりとし 醫務局員が一致結束して

石山博士を支持

平町十五丁目磐城共濟病院にては一日院長石山謙郎博士が辭職した爲め

後任として片野博士を迎えた旨發表したが此事たるや共濟會會長賀澤忠治氏が最高機關たる理事會にも諮らず同氏個人の專斷に出でたる不穩當の處置であるとして

物議を醸すに至つ

た、即ち石山博士は昨年四月同病院に赴任して以來誠意診療に従事して大いに内外の刷新に努めた効あつて業績も此の不況時にありながら斯く安定の境に進み

前途に一道の光明を

認め得る状態となり、其の一身に患家の信頼を集め、而も常に動議の微あつた院内の醫員、職員、看護婦等一致して石山博士に滿腔の信服を示すに至つた爲め幾分

其影が薄くなつた觀

ある賀澤會長の焦慮の種となつたものゝ如く、病院經營の上に於て端なくも兩者間に意見の衝突を來すに至つた處、賀澤會長は同博士

を追ひ出して、自己の經營的野望を思ふ儘に遂げんと

一昨日突然同博士に

解職を迫つた爲め寢耳に水の醫務局員等は此事を聞いて憤慨し我々も院長と行動を共に爲さんと結束し茲に院長解職問題は會長對院長の争議問題と化するに至り石山院長は「自分は單に賀澤氏

看護婦を傷く

賀澤會長の子息

別項磐城共濟病院の争議のもつれから共濟會會長賀澤忠治氏の次男東京慈惠醫科大學三年生某(三)は昨七日午後二時頃同病院廊下に於いて院長石山博士付看護婦洗

崎ミイ(三)の右眼下を強打し眼鏡の破片を以つて全治二週間の裂傷を負はした

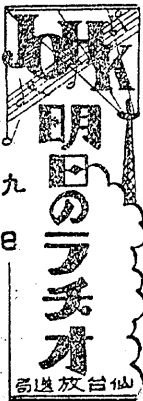
夜間學校

平第三校で

平第三小學校にては既報の如く今晩九時より明朝四時迄夜間學校を催すが行事内容は左の如くである

個人に雇はれた者に

あらず、依つて賀澤氏は自分を任免するの權能がない故に此際理事會の招集を請求し、理事各位の意見に依つて行動を決すべし」との強固な意見を抱藏し昨日も本日も平常通り病院に在つて堂々と診療に従事して居る



明日の部
今晩は南西の風
曇り明日は北の
風晴れたり曇つ
たり

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 少年運動講座「水泳の手ほどき」(一)京田武男
- 後六、三〇 夏期英語講座
- (九)河合逸治
- 後八、〇〇 清元「おどけ俄煮珠取」清元延古摩外
- 後八、三〇 長唄「五條橋」
- 佐藤かくし外
- 後八、五〇 小唄「夏は螢」
- 外唄「三味線長吉替手丸子」
- 後九、〇〇 連續漫談「西遊記第一席」山野一郎
- 伴奏福田宗吉
- 後九、三〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組豫告

他人の女房を

カミソリで脅迫

騒がれて押入に 匿れた處を捕る

平町鎌田町居住元古物商吉田勝雄(三)は豫てより月見町果物商江川安信の妻徳江(三)に懸想し昨夜九時半頃夫の不在中に忍入り西洋剃刀を以つて徳江を脅迫したが徳江は泥棒々々と連呼

一家五名罹病

飯野村のチブス

石城郡飯野村大字中山字藁谷三八矢吹淺之助方で去る六日の夕食に鯉を食した長女トシノ(三)が發熱下痢を

始め醫師の診斷の結果チブスと判明隔離された處昨七日には同家の長男南治(二)二女ミツエ(八)三女咲代(六)次男朝雄(四)四名が

發熱いづれもバラチブスとして隔離されたので村役場では同部落全部の大消毒を行つたと

平町で梨の

品評會開催 城聯合果樹組合長會議は去る六日午後一時より団体事務所樓

明日の部

- 前九、一〇 料理談話「南瓜のつくね煮」河内裕松
- 前一〇、三〇 婦人講座「世界に稀な日本の水上ベイチェント」早稻田大學教授日高只一
- 後〇、〇〇 オリズムピッコ大會狀況 米國NBCロサンゼルス放送局より中繼
- 後二、五〇 運動競技「全日本都市對抗野球大會狀況」明治神宮外苑球場より中繼
- 後六、〇〇 子供の時間
- 少年運動講座「水泳の手ほどき」(二)京田武男
- 後七、三〇 講演「日本に於ける國民大衆諸君に告ぐ」滿洲國總務長官駒井徳三
- 後八、〇〇 浪花節「怪男兒甲斐勇吉」京山香風
- 後八、五〇 哥澤「初秋」外哥澤芝金 三味線哥澤誠
- 後九、〇〇 連續漫談「珍釋西遊記」(二)山野一郎
- 伴奏福田宗吉
- 後九、三〇 滿洲より「北滿に於ける邦人狀況」北滿事情週間の内)
- 高卒 月廿七圓(江名町某)
- 賣子 三十才以下 尋卒 賣上の二割(江名町某)
- △兒守 十六才 尋卒 月三圓(平町某)
- △回求職の部
- △雜役 二十三才 尋卒 給料面談(大阪市某)
- △土工夫 三十五才 尋卒 給料面談(宮城縣某)
- △配達 三十三才 高卒 給料面談(平町某)
- △自動車助手 十五才 高卒 給料面談(神谷村某)

平町人事

- △新町二二 當時北海道阿西郡帶廣町十五丁目二三 田智大氏二女ヒロ
- △回婚 姻
- △千葉縣東葛飾郡八幡町紺野忠(四〇)平町下川原一 九鈴木ハルノ(三二)
- △回死 亡
- △十五丁目 奥山成藏(六七)

慕末市剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫 雲 畫

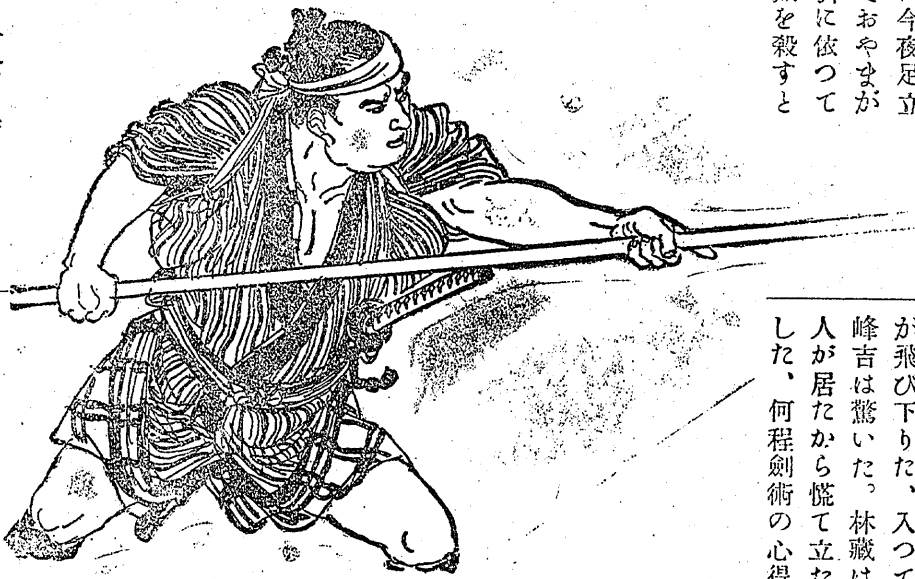
第二百一十一席 真庭念流の達人櫻井五助

林藏ついに落命

高萩の子分は林藏一人に追立てられて廊下まで下つて来た、林藏は此奴等を相手に長く此處で斬り合つてゐれば向ふは多勢此方は一人どうしても助からぬ、と云つてこの窓から出ようとしたところをこれを踏破つてゐる間には斬られてしまふ、茲は表から逃げるより他に遁れる所はあるまいと思ひそこは劍術の出来る徳で、高萩身内が多勢固まつてゐる中へ七首を提げてバツと飛込んだこれが却却困難なことです。普通の人ならば人の居ない方に逃げる然うすると追蒐けられて斬られてしまふ死地に入つて生を得るとはこゝです。多勢居る中へ飛込んだ、これに驚いた高萩身内はバツと左右に分れた。其隙にバツと廊下を駆け出して奥二階へ来て梯子を駆け下りる、その時

○『逃すな』

と後から追つて来た林藏は梯子を駆け下りるもう間がない、足を縮めてポーンと飛び下りた途端に手槍を提げて後れて此處へ来たは門峰吉、足立屋に入るまの



目の前へバツと林藏が飛び下りた、どうして峰吉が此處へ来たといふに今夜足立屋でおやまが手引に依つて林藏を殺すと

聞いて竹槍を持つて上尾の富藏のところへ来ると女房が女『先刻もう皆な出て行きましたよ、お前さんが来たら直に寄越してくれと山毛谷戸の見さんが云ひ置いて行きました』

なつたが、それでは直に行つて来る』

云ひつゝ、此處を出て足立屋の前迄来るとバツとガッ／＼と云ふ音

峰『オウ始まつて居るナ』

手槍を小脇に抱込んでソリ／＼と入つて来た、是は角力取上りて身体が肥えて居りますから腹を突き出してスツと入る足立屋の土間、其途端に高萩身内を斬

抜て二階から目の前に林藏が飛び下りた、入つて来た峰吉は驚いた、林藏は前に人が居たから慌て立とうとした、何程劍術の心得があ

ゐた七首を壁へブツリ突き通してそれを離り、峰吉をハタと睨んだ其の顔の凄

い事峰吉はブル／＼と震へた、二階から駆け下りた高萩身内が

彌『峰吉か、林藏はどうした』

峰『オウ……俺が突いた』

云はれて見るとこの始末源『親分の敵だ覺悟しろ』と高萩の彌五郎を始めとして山毛谷戸の源太郎其他の者が三方より斬つて掛つた、林藏が剛氣な人でも最初に脇腹を突かれて居ります、もうどうする事も出来ない、そこを多勢に斬り付けられて身体は縮のやうになり、バツ／＼倒れた。躍りかゝつた源太郎が首を打落した關東で泣く兒も黙ると云はれた赤尾村の林藏も遂に此處で落命いたした。首を斬つた源太郎はそれを峯吉の槍の先へ突き刺して源『サア是から久森へ引揚げて親分の墓に此首を手向けて喜ばして遣らう』

と各々支度をした、此時足立屋の女房が慄へながら店へ出て来た

源『姐さん、騒がして氣の毒だナ、俺達は此首を親分の墓に手向ければ名乗つて出て御所刑を受ける、もうおめえにも會ふ事は出来なからう今夜は座敷を汚したかどうかこれで淨めてくんねえ』

バラりと投げ出したは二歩金で五十兩あまり

女『親分お芽出度うございませ、唯高萩の貸元が冥

土で喜ぶでございませう』源『イヤ、是で俺達も親分への恩返しが出来た、それは宜いがおやまさんはどうしたらう、林藏に脇腹を當てられて倒れた處は見たが死ぬやうな事もあるめえどうぞ手當をして遣つてくんねえ、此處に長居をして八州の役人にも来られては此首を東勝寺へ持つて行く事が出来ぬえ、サア行け』

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病
松村 院醫科
電話一七〇番

外科 婦人科
井坂醫院
平町 電話五五九番

毎度御ひいき
有難ふ御座ります
うなぎの御用命は
うなぎ 奴
平町田町(電話二二番)
ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

亡息茂儀新益の處時節柄
御供物一切御遠慮申上候
森本盛一
舊七月

亡父勝二儀本年新益に相
當仕候も故人の遺志に依
り提灯の御贈與辭退仕度
此段御諒承願上候
鹽坂幸子
電話一九二番

亡喜代子儀新益に相當り候處時節柄佛
前供品一切御辭退可申上候付不惡御了
承相成度候 敬白
清野音吉
平町新川端(釜屋新宅向)
醫學博士 難波陸
電話五〇二番